

# AIオンデマンドバス「のるる」で移動の選択肢を広げるまちへ ～高萩市における持続可能な交通モデルの構築～

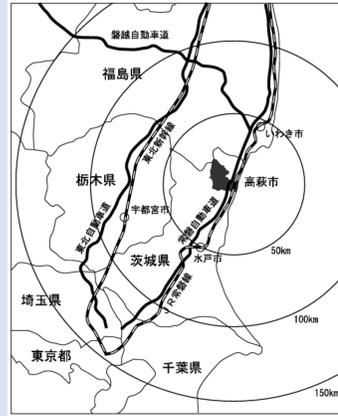
高萩市・茨城交通(株)・(株)みちのりホールディングス

## のるる導入前の路線バスの課題

地域の特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>高萩市：人口 27,614人、高齢化率 36.0%（2020年4月時点）</li> <li>太平洋側の平地に鉄道駅、外出目的地、住宅地が分散立地。</li> </ul>
利便性の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停まで遠い。便数が少ない（1～2時間に1便）。</li> </ul>
運営の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バスの利用者数減少。赤字額が年々増加。</li> <li>特に日中は利用者数がされない（5人/便未満の便が多い）。</li> </ul>

日中の路線バスはAIオンデマンドバス「のるる」に切り替え  
朝夕は路線バスとのるるを組み合わせることで需要に対応

### 高萩市の位置



### 高萩市内の公共交通



## AIオンデマンドバス「のるる」の特徴

### これまでの取組

検討ステージ

導入ステージ

改善ステージ

2020年3月  
3者で協議開始

2021年3月  
実証実験実施の  
3者協定

2021年7月～  
2022年9月  
導入の実証運行

2022年10月～  
本格運行開始

2024年10月～  
2025年1月  
改善の実証運行

2025年2月～  
継続実施

#### 3者で協定締結



#### 市民へのサービス定着を図るため段階的に展開

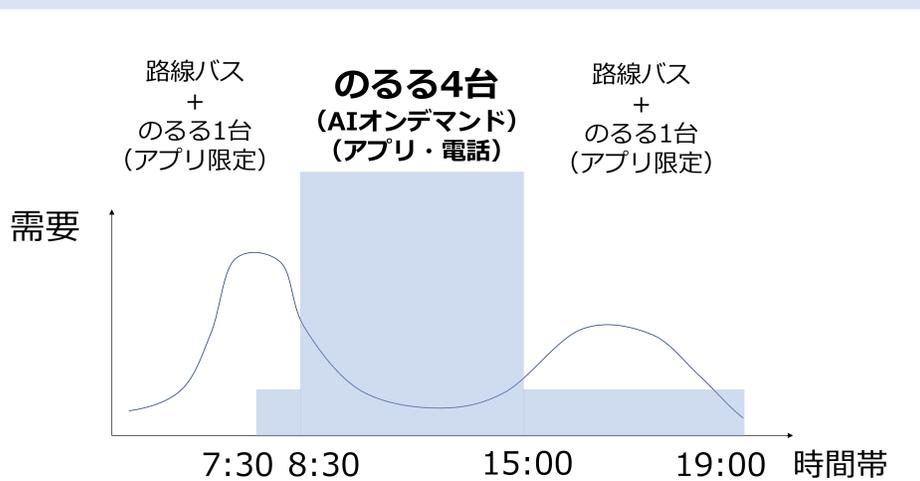
段階・時期	対象者	台数	転換する路線バス
①7～9月	向洋台団地の住民	平日1台	—
②10～12月	誰でも利用可能	平日2台	1路線をのるるへ転換
③1～9月		平日4台 土日祝2台	日中の全路線をのるるへ転換

- 本格運行開始以降、**利用者数は横ばい**で推移
- 2023年度後半から利用者数が低迷**、収支率悪化

- サービス改善とモビリティ・マネジメントを実施
- 共創モデル実証運行事業を活用
- 朝夕の運行時間拡大**（平日1台、アプリ予約のみ）
- 高萩清松高校周辺を**運行エリアに追加**
- 関係主体と協力した**モビリティ・マネジメントを実施**  
⇒利用者数が増加。継続実施決定。

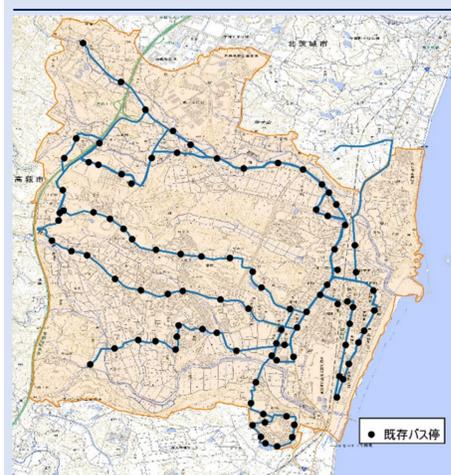
## AIオンデマンドバスと路線バスを組合せた運用

- ✓ 日中の路線バス（定時定路線）をAIオンデマンドバス「のるる」へ切替え
- ✓ 朝夕は路線バスとAIオンデマンドバスが運行



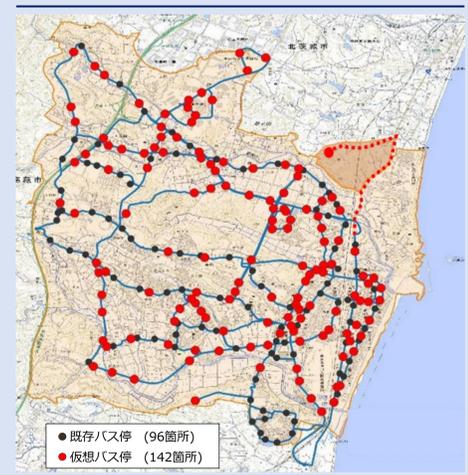
## バス停を2.5倍に増加

### のるる運行開始前



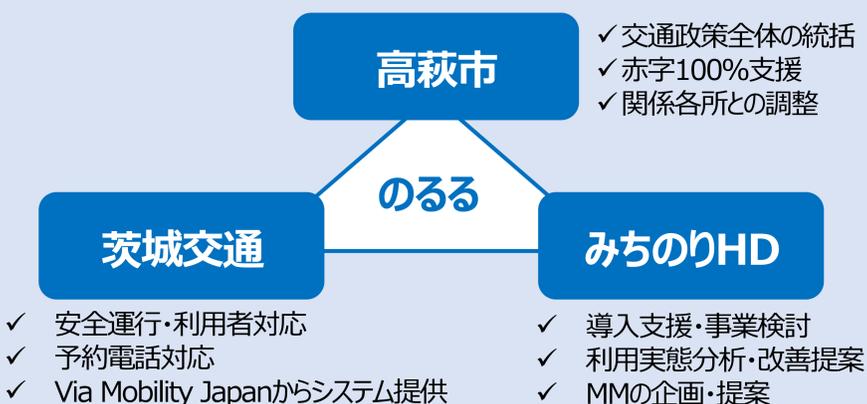
バス停：96箇所

### のるる運行開始後



バス停：238箇所  
(既存：96箇所 + 仮想バス停：142箇所)

## 3者協力の実施体制



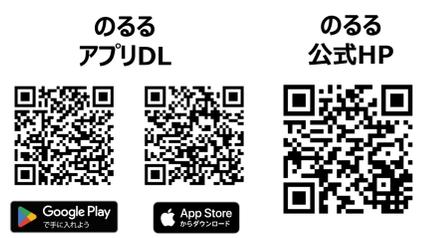
## 中型バス4台で運行

- ✓ 朝夕の路線バスと車両を併用



## アプリと電話で呼出し





# モビリティ・マネジメント施策

## 導入ステージ (2021年7月から実施)

- ✓ 路線バスからののるるへの利用転換を目的に実施。
- ✓ 高萩市・茨城交通・みちのりHDが協力した取組。

### 住民説明会・スマホ教室



### パンフレット・利用マニュアル



### 広報誌での周知



### 利用説明用の動画



### 高校の校内放送でPR



## 改善ステージ (2024年10月から実施)

- ✓ 新規利用者の獲得を目的に実施。みちのりHDが企画・提案、高萩市が関係者と調整。
- ✓ 高萩市の複数部局や地元の施設と連携して実施。
  - ・ 高萩市役所：企画財政課、健康づくり課、子育て支援課、教育総務課、生涯現役推進課
  - ・ 地元の施設：高萩清松高校、高萩高校、イオン高萩店、高萩協同病院
- ✓ 世代・立場に応じた「のるるのある日常」を親しみやすく描き出したチラシを作成。
  - ・ 読者に「これは自分にも関係ある」と感じさせ、自然に利用を促すよう設計。

### 高校生ワークショップ

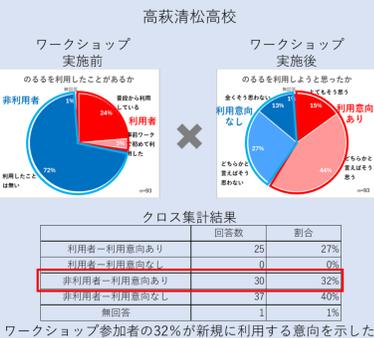


### のるるの利用シーンを4コマ漫画形式で表現したチラシ

共通面 通院利用者向け 子育て世代向け 買物利用・子育て世代向け

高萩清松高校向け 高萩高校向け

イオン高萩店で買物客と従業員にチラシ配布



# 導入・実施の成果

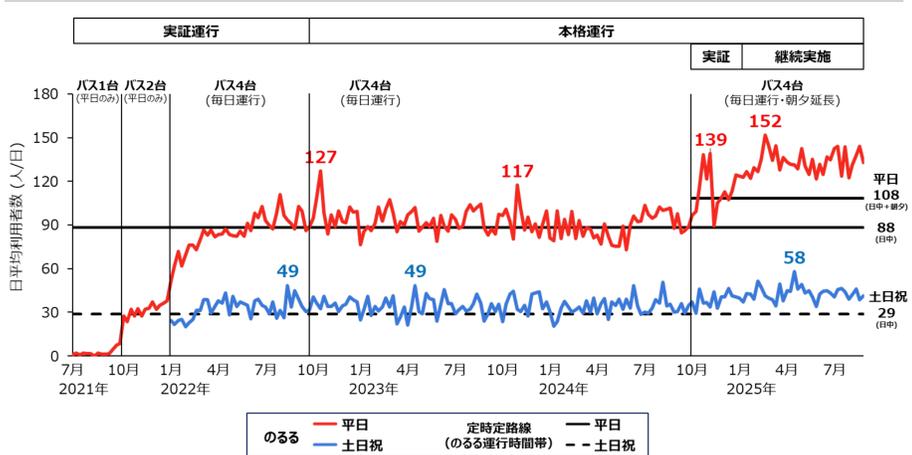
## 利用状況

- ✓ 利用者数は、導入前後で平日約24%増、土日祝約51%増

### のるる導入前後の利用者数の比較

	導入前	導入後 (2025年7月)
平日 (7:30~19:00)	108人/日	134人/日
土日祝 (9:00~15:00)	29人/日	44人/日

### 利用者数推移と導入前との比較 (2021年7月1日~2025年8月31日)



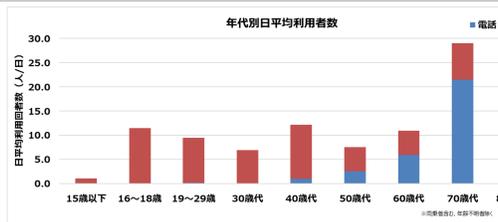
- ✓ 利用者の年齢構成は、10~20歳代が20%、30~60歳代が34%、70歳代が26%、80歳代が20%を占める

### 利用者の年齢構成とアプリ割合 (2025年7月)

#### 呼出割合

アプリ 55%  
電話 45%

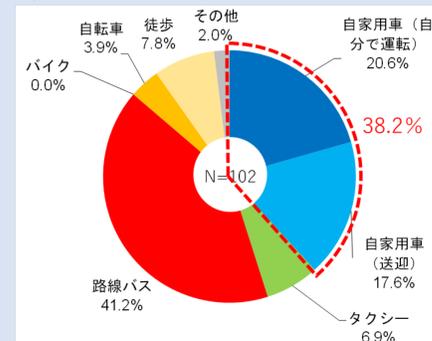
※同乗者含む割合



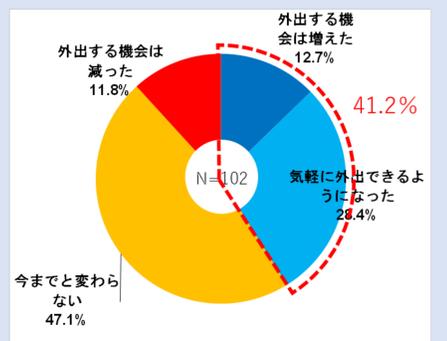
## 利用者アンケート (2025年1月実施)

- ✓ 自家用車からの転換 約4割
- ✓ 移動の自由度が向上 約4割

### MyRideののるるの利用を開始する以前の移動手段



### 外出機会の変化



- ✓ 外出回数 1割増加

### 実証運行前後の外出回数の変化 (1人当たり週当たり外出回数)



### 利用者の主な意見

- ・ 「のるるが生活に必須」「外出が増えて生活が楽になった」
- ・ 「良いサービスなので継続してほしい」との声が多数
- ・ 「運転手や電話対応が丁寧で安心」
- ・ 「混雑時や休日は予約が取れず不便」
- ・ 「遠回りや待ち時間で時間が読めない」
- ・ 「病院予約や電車で間に合わない」

## 運行効率

- ✓ 既存の路線バスと同数の車両・運転士体制を維持したまま、バス利用者数の増加を実現

のるる  
1時間1台当たり  
利用者数  
(2025年7月)  
4.3人/時・台

	実証運行開始前 (2024年6月)			実証運行実施後 (2025年6月)		
	形態	台数	利用者数	形態	台数	利用者数
朝・夕 (~8:30~15:00~)	路線バス	3台	79.9人/日	路線バス	2台	64.9人/日
	のるる	1台	18.1人/日	のるる	1台	22.8人/日
日中 (8:30~15:00)	のるる	4台	92.8人/日	のるる	4台	111.5人/日
	路線バス	1台	190.8人/日	路線バス	1台	199.3人/日

※路線バスの利用者数は、高萩清松高校線を除く

本取組に関するお問い合わせ

株式会社みちのりホールディングス 渡辺

TEL : 03-6250-1078  
E-mail: k.watanabe@igpi.co.jp